

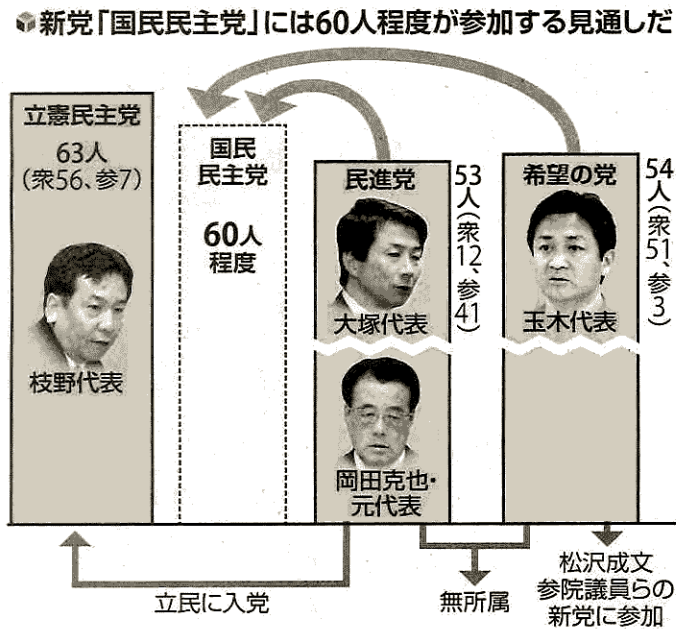
「国民民主党」結成合意

民進・希望 60人程度参加

民進党(53人)と希望の党(54人)は26日、国会内で党首会談を行い、新党「国民民主党」の結成で正式に合意した。5月7日に東京都内のホテルで結成大会を開き、始動する。ただ、岡田克也・元民進党代表ら両党の一部議員は参加しない方向で、結成時の勢力は60人程度となる見通しだ。衆院で野党第1党にならないことは確実な情勢で、多難な船出となりそうだ。

党首会談で、民進の大塚、希望の玉木両代表は新党結成の合意書に署名した。大塚氏は「国民生活を向上させ、民主主義を高め、今の国会を健全な姿にしてい

く」と述べ、玉木氏は「野党結集を図る第一歩と位置した。希望は玉木氏ら民進



出身者と、松沢成文参院議員らによる分党も決めた。両党執行部は全所属議員に対し、5月7日までに参加の可否を回答するよう求めている。新党の代表は当面、大塚、玉木両氏を共同代表とする案が出ている。両党は当初、衆院で野党各党を主導する野党第1党の座を狙っていた。衆院議員は、民進は12人、希望は51人で、合計すれば立憲民主党の56人を上回るためだ。だが、新党は広がりを持っていない。民進党籍を持つ

玄葉光一郎・元外相、川正春・元文部科学相は26日、新党には参加せず、無所属となる意向を表明した。野田佳彦・前首相や安住淳・元財務相も不参加の方向で、27日にも正式表明する。

民進の小川敏夫参院議員会長は26日の記者会見で、立民に入党すると表明し、新党に参加しない参院議員は「17人くらいになる」との見通しを示した。希望でも、結成に参画した細野豪志、笠浩史両衆院議員は不参加の意向だ。

「松沢新党」への参加希望・長島氏見送り
希望の党の長島昭久衆院議員(衆院東京21区、当選6回)は26日、松沢成文参院議員が結成する新党への参加を見送り、無所属となる意向を表明した。当初は参加する予定だったが、松沢氏らとの間で、「党運営で方針の違いがあった」と記者団に語った。